

学校教育課だより

かけはし



学校教育課だより
「かけはし」
【第1号】
平成31年
4月22日発行
御殿場市教育委員会
学校教育課

平成から令和へ

年度の始めに

教育長 勝亦 重夫



◇ 平成から令和へ ◇

平成三十一年度がいよいよスタートしました。子供たちとの新しい出会いはどうだったでしょうか。四月は、子供たちの「頑張ろう、一生懸命やろう」という気持ちが表情や目の輝きに表れ、とても眩しく感じます。教職員として

は身を引き締めさせられ、同時に元気をもらええる時です。この子供たちのやる気を少しでも長く持続させ、子供たちの気持ちに伝えられるよう努力していただけることを願っています。移行期を経て、次年度、小学校から順次学習指導要領が完全実施されます。学習指導要領は、ほぼ十年ごとに改訂されますので、平成では、三回改訂が行われました。教育の大きな流れを確認するという意味で、それぞれの特徴を確認してみます。平成四年では「新しい学力観」がキーワードとなり、個

性を生かす教育を目指しました。教科の学習内容を削減するとともに、生活科が新設され、道徳教育の充実などで社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成を目指しました。

平成十四年では「総合的な学習の時間」が新設されるとともに、「自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的な判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」の育成を目指しました。また、学校は完全週五日制となり、学習内容の精選が図られ授業時間は削減されました。

平成二十三年では、ゆとりでも詰め込みでもなく、知、徳、体のバランスの取れた力である「生きる力」の育成を目指しました。学力低下問題の影響もあり、減り続けてきた授業時間は三十年ぶりに増

加することになりました。いわゆる「脱ゆとり教育」です。学習指導要領は、将来の社会を見通し、子供たちが生きていくために必要な力を養っていくという視点で改訂されます。次年度から完全実施となる学習指導要領を、時代の流れからくみ取り、そして改訂の趣旨を十分に理解し、各学校で授業づくりが進められることを期待します。

また、時間の流れの区切りはありますが、元号が変わることでも人々の意識は大きく影響されます。時代の大きな節目です。あと一週間程度で「令和元年」となります。今回の学習指導要領は「新しい時代」の教育が始まるという点からも、注目され期待されるはずです。

◇ 年度の始めに ◇

子供たちとの出会いから二週間余り。年度の始めに先生方をお願いしたいことがあります。それは「子供たちの話をよく聞いてほしい」ということです。どんな子供でも自分のことを知ってほしい、分かっただけでいい」という気持ちを持っていきます。そのためには、まず「聞く」ことが必要

となります。忙しい日々ですが、この点を大切にすることを願います。

市教職員着任式

平成三十一年四月一日、十七名の転入職員と十八名の新規採用職員、総勢二十五名の教職員の皆様を御殿場市にお迎えすることができました。

転入者代表の言葉

御殿場市立原里小学校

校長 藪下 清美先生

本日は、年度当初のお忙しい中、私たち転入教職員のために、このような式を開いていただき、心より感謝申し上げます。

例年より早い桜の便りに、心弾む四月をこの御殿場市で迎えられたことを嬉しく思います。

さて、先日、こちらに御挨拶に伺い、前教育長より、「御殿場市へようこそ」という文書をいただきました。

それには、「勤務する場所を変えて、新しい生活が始まります。耐えることもありますが、



壁になること
もあり

ます。常におこらず、真摯に、まっすぐ、教育にまい進してください。」と記されています。その一言一言を読みながら、新天地で、また精一杯頑張っているという気持ちを新たに致しました。そして、文題の下に手書きで「おかせりなさい」と添えてくださった温かさに、少し肩の力が抜けた気がいたしました。

私個人としては、昨年までの五年間、小山町に勤務し、小規模ならではの、まさに子供たち一人一人の顔が見える教育を学ぶことができました。また、地域とともに子供を育てていくという意識のもと、「社会に開かれた教育課程」を実践する経験を積むことができました。

児童・生徒の人数には関係なく、一人一人を大切にしたい、きめ細かい教育は、基本中の基本であること、また、地域や保護者が一体となり、「チーム学校」として、子供を育てることが、学校教育の効果をあげることなど、経験から、学んだことを、新任校でさらに実践していきたいと思いません。

折しも新元号が発表され、

時代は止まることなく進んでいます。未来学者のレイ・カー

ツワイル氏によれば、二〇四五年には人工知能が人類を超えるそうです。目の前の子供たちは、私たちが経験してきたことからは、想像もできないような未来を、切り開いていかなければなりません。

かの、大村はま先生も、対談の中で「教師は、未来を築く子供たちの、持つべき力を確実に付けていかなければならない。それがなければ、教師という職業として誤りだ。」と述べているそうです。

私たちは、プロの教師として、また学校を運営していく者としての、責任と自覚を持って、教育活動にまい進していく所存です。

しかしながら、私たちは、まだまだ未熟であり、至らない点が、多々あるかと思えます。是非、教育公務員としての使命と責任の重さを肝に銘じ、一日も早く、御殿場市の教職員として認めていただきたいと思いますように、職務に専念することをお誓いして、転入教職員代表の挨拶とさせていただきます。

初任者代表の言葉

御殿場市立御殿場小学校

教諭 柴田 俊哉先生

桜の開花が春の訪れを告げる季節となりました。私たち十八名は教職員としての第一歩を、雄大な富士のふもと、ここ、御殿場市にて迎えることができ、大変喜ばしく思います。これから訪れる様々な

た。この実習で初めて授業を行ったとき、子供たちの豊かな発想力や可能性に驚きました。また期間中、自作の教材を用いて行った授業での、新たな発見に対する子供たちの輝く目や、教材を動かす際の子供たちの真剣なまなざしが脳裏に、鮮明に、焼き付いています。

このような経験から子供たちのために何か自分にできることはないだろうか、と思いました。その思いから、教師という仕事に真剣に向き合いたいと考えるようになりました。子供たちには秘められた力があり、それをどうしたら生かすことができるのか、それを考えて過ごすようになった結果、子供たち一人ひとりと向き合っていくことの大切さに気付きました。

今、子供のころ先生にかけていただいた言葉が思い出されます。当時の先生にとっては何気ない一言であったかもしれませんが、私にとっては今でも心に残っており、その言葉が励みとなっています。子供たちの将来を見据えて、言葉を大切にし、愛情持った声掛けをしていきたいと思えます。

私が教師を志す大きなきっかけとなったのは、大学での三週間の教育実習でし



を引き出すことのできるような教師」。それが私の目指す教師像となりました。

これから私たちは、いかなるときも「先生」としての自覚をもって日々を過ごしていきます。しかし、未熟さゆえにときには大きなつまずきに直面することもありますが、先輩方のアドバイスを真摯に受け止め、日々の中で多くのことを吸収し、精一杯努力を重ねていきたいと思えます。

御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。また、子供たちとのかかわりを通して共に成長し、多くの

学校に通う子供たちには、性格や生活環境など多様な背景があります。日ごろのかかわりの中で、子供たち個々に寄り添う姿勢を持ち、子供たちを理解し良さを認めることで、子供たちとの信頼関係を築いていかなければならないと強く思いました。「子供たち一人ひとりに秘められた輝き



経験を糧に、理想の教師像に近づいていけるよう精進して

参ります。

新しい時代を 主体的に生きていくために 教育監 勝俣 純



平成の時代があと一週間程度で幕を閉じます。新しい何かが始まるときには、言葉では表しにくい期待と不安が心の中に膨らむものです。

今春の学校・学級での新しい出会いはいかがでしたか。先生方と同様に児童・生徒のみなさんも新しい出会いに期待と不安を抱いたことでしょう。先生方にとっても、子供たちにとっても、期待が膨らみ続ける一年になってほしいです。子供の不安を解決できれば、先生への信頼や学校生

活の安心につながります。逆に、不安をそのままにしていると人間不信や教師に対する不満が変わってしまいます。

今年、例年のない長い期間のゴールデンウィークとなります。各校では、早い時期から先を見通して、遠足や修学旅行をはじめとする学年・学校行事の準備に奔走したり、連休明けの登校渋り対応を考えたりと、過去に例を見ない忙しさかと思えます。

四月の先生方ががんばりは、これからの一年の学校・学年・学級の盤石な礎となるはずで、くれぐれも先生方自身が健康に留意しつつ、多忙な中でも、笑顔で学校生活を送っていくことを期待しています。

さて、本年度の御殿場市教育委員会教育構想の基本目標は、「人間力と社会力を核とする心の教育を基本に、確かな

学力の定着を図り、社会に開かれた教育と魅力ある学校づくりを推進する。」です。

まず、『確かな学力の定着を図る』については、学校における授業づくりが、「未来の社会での生きる力」の捉え方の変容に伴って、大きな曲がり角にきていることを意識せずにはいられません。

①新学習指導要領を踏まえた授業改善を円滑に行う。
②ICT化の進む新たな授業づくりを模索する。

学校の教室で実際に教壇に立ち授業をする先生方は、①や②に対応すべく準備に追われていることでしょう。

できる限り、先生方が時間を有効に活用できるように、市の教育指導センターの研修や地区、県の研修を効果的に活用し、各個の研修計画を構築してほしいものです。

また、「社会に開かれた教育と魅力ある学校づくり」については、今後、具体的に取組んでいく『御殿場型コミュニケーション・スクール』をどのよう

に創り上げていくかが重要なポイントとなります。
現在、毎日のように耳にす

る「働き方改革」について、学校現場の場合においては、教職員が、もつと主体的に意見を述べるべきと考えています。現在の、そして、未来の学校に何を残すべきか、何をスリム化するかは、一人でも多くの先生方の意見をもつと大切にすべきだと考えています。

先生方自身が、「主体的・対話的で深い学び」を日々の生活で実践する者として、自分の教職生活に誇りと尊厳が持てるよう、主体的に自分の働き方と向き合っていくってほしいものです。今年一年が、先生方にとっても、児童・生徒にとっても、実りある年となることを期待しています。



学校教育課 スタッフ紹介

今年度の学校教育課スタッフを紹介いたします。新しいスタッフは、写真付で紹介いたします。

【主席指導主事 小林 徹】

本年度の御殿場市教育フォーラムのテーマは『すべての子供に最良の学びを届ける御殿場の教育を目指して』になりました。市内すべての先生方のお力をいただき、このテーマの具現化を共に目指します。よろしく願いいたします。

【課長補佐(統括)

府川 健作】

学校教育課で四年目となりました。主に学校保健の関係でお世話になります。御殿場の子供たちが、健康で逞しく思いやりを持った大人に成長できるよう、先生方のお手伝いできればと思います。よろしくお願いたします。

【主任 渡邊 ゆかり】

昨年度は学校運営について

て多くのことを学ばせていただきました。一緒に仕事をさせていただいた先生方や、事務職員の方々に心から感謝申し上げます。今年度もまた新たな気持ちで頑張りますのでよろしくお願いいたします。

【副主任 勝又 教主】

今年度より学校教育課へ配属されました勝又教主です。臨時職員さんに関する事務と教科書に関する事務を主に担当させていただきます。一日も早く仕事を覚え、お役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



【主事 丸山 眞洋】

学校教育課に配属となり二年目を迎えました丸山眞洋です。今年度は主に学校保健関係を担当いたします。昨年新人として皆様にご迷惑をお掛けしたので、本年はお力になれるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。

【指導主事 平松 祐】

今年度から学校教育課でお世話になることになりました平松祐です。生徒指導や定数関係などを担当いたします。子供たち一人一人が生き生きと生活していけるよう、全力で応援していきます。よろしくお願いいたします。



【指導主事 丹澤 謙志】

学校教育課職員として三年目を迎えました。本年度も、研修、幼稚園等を担当します。御殿場市の幼児教育及び義務教育の充実に向けて全力でがんばります。よろしくお願いいたします。

【指導主事 中西 直子】

今年も特別支援教育や学籍等を担当します。児童生徒に寄り添う支援を目標に、課題と向き合い、御殿場市の教育の充実と発展のために尽力したいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

【特別支援巡回指導員 勝又 立雄】

昨年から引き続きの学校訪問となります。特別支援教育は個への支援と温かく支持的な集団作りを両輪として、自尊感情を醸成することが大切だと感じています。その手助けをさせていただきたいと思えます。どうぞよろしく。

【就学支援指導員 岩瀬 和代】

指導員として二年目になります。就学について、園・学校現場の先生方、関係機関の皆様方が、寄り添い、真摯に向き合っている姿を見て、気の引き締まる思いです。御殿場の子供たちのより良い就学に向けて、精一杯お手伝いしたいと思えます。よろしくお願いいたします。

【幼稚園指導員 瀬戸 亮策】

本年度も引き続き幼稚園指導員を務めます瀬戸亮策です。幼小のなめらかな接続に欠かせない幼稚園のアプローチカリキュラムと小学校のスタートカリキュラムについて、情報提供をしながら幼小を支援していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

【市教育相談員 勝又 弥生】

相談員の勝又弥生です。子供もたちの困り感を少しでも解消して、子供たちや保護者に寄り添った支援を心掛けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



【教育指導センター室長 高橋 正彦】

昨年度、道徳の授業をよく参観させていただきました。道徳について、改めて勉強する機会になりました。幾つになっても勉強は必要だと思います。少しでも、先生方の役にたてるように頑張りたいと思えます。

【教育指導センター指導員 岩田 京子】

指導員五年生です。若手の先生方の向上心や柔軟な発想に触れ、授業づくりの面白さを再認識しています。学び続ける教師であってほしいという願いを込め、指導と支援に努めたいと思えます。よろしくお願いいたします。

【教育指導センター指導員 湯山 伸彦】

様々な世界で若い人たちの躍進が、人々に活気と勇気をもたらしています。教育界でも若手教師の活躍こそが、学校を熱くすることだと思います。若手教師の思いを押し上げることができるよう頑張ります。宜しく願います。

【教育指導センター指導員 芹澤 ゆき子】

訪問を通じ、幼児期の重要性を感じる日々です。幼児教育は、小学校以降の教育と学びの形は異なりますが、学ぶという心の持ち方は同じです。微力ですが、子どもたちの心を育てる手助けに励みます。

【教育指導センター指導員 鈴木 貴子】

本年度からお世話になることになりました。二年間の初任者指導で研修したことを土台としながら、さらに若い先生方と一緒に、より充実した学校教育を目指して勉強していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

